



講話は手話通訳(右)を交え行われた

## 弘前・聴覚障害者も対象に初の講座

# 手話を交え健康情報

障害を持つ人に健康を学ぶ機会を。70歳以上の高齢者の健康増進に取り組む弘前市の市民団体「ヘルシーエイジング」(齋藤紀代表)は24日、初めて聴覚障害を抱える人たちも対象とした健康講座を弘前市のヒロロで開いた。同日は手話通訳者を含め、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座の中路重之特任教授による健康に役立つ話を楽しんだ。

(西尾瑛)

## メタボやロコモを学ぶ

同団体はひろき健康増進リーダーの指導による運動と歌、教養に関するミニ講座を組

み合わせた形を基本に、3カ月ごとにテーマ設けて活動を行っている。今回の講座は齋藤代表の饗学校教員時代の幸増進リーダーの指導による運動と歌、教養に関するミニ講座を組

者7人を含む約60人が参加し、メタボリックシンドロームやロコモ

ティフシンドロームなどについての話に興味深く聞き入っていた。齋藤代表は「これまで障害を持つ人は健康について聞く機会がなかった。今後は体操なども合わせた形で行ってほしいと思う」と話した。

中路特任教授も「まさに市民同士の力。市

今回の講座は齋藤代

この日は、聴覚障害

民の中からこういった非常に意義深い」と活動が出てくることは動を評価した。